

災害時のトイレのポイント

Using the Toilet in Times of Disaster



さいがいじ
災害時は、トイレも大きな問題となる。1人1日当たりの排泄物の量は約1.5リットル※。停電や排水管の損傷、断水によって水洗トイレが使用できなくなれば、トイレはウンチの山となる。また、衛生管理が行き届かなくなり、細菌やウイルス等による下痢や嘔吐等の症状が流行する温床にもなる。

※排泄物の量には個人差があります。

災害時のトイレ事情



穴を掘ってつくったトイレ



汚物が詰まったトイレ



バキューム車が来ないため使用禁止のトイレ